

**安城市への将来展望に関するアンケート調査
(調査結果)**

目次

1 調査概要	3
アンケート調査の概要	3
2 回答者の属性	4
3 調査結果	10
(1) 普段の生活について.....	10
(2) 地域での社会活動や人とのつながり	17

1 調査概要

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定にあたり、安城市のそれぞれの地域でどのような活動がおこなわれているのか、また市民意識・動向を明らかにし、まちづくりの参考にさせていただきたいと考えております。したがって、本調査は、お住まいの地域での普段の生活、および地域での社会活動や人とのつながり等を把握することを目的として実施するものです。

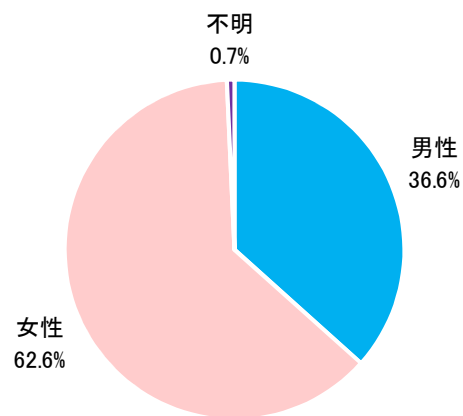
調査の概要は下表のとおり。

アンケート調査の概要

調査対象	安城市在住で18歳以上の方
調査方法	郵送による配布・回収
抽出方法	住民基本台帳から2,000名を無作為抽出
調査期間	2015年5月26日（発送）～6月3日（投函期限）
主な調査項目	<input type="checkbox"/> 普段の生活について <ul style="list-style-type: none">・ 台所用品や日常食料品などの消耗品の買い物・ 学校や職場への通勤・通学状況・ 安城市に居住している理由 <input type="checkbox"/> 地域での社会活動や人とのつながり <ul style="list-style-type: none">・ 社会活動への参加状況・ 家族・親族以外の人とのつながりについて・ 地域社会への思い・ 幸福感を判断する際に重視する事項・ 地域での暮らしや社会活動についてのご意見
回収状況	有効回答数：688部（有効回答率：34.4%）
備考	<ul style="list-style-type: none">・ 設問文末の記号について、「SA」は単回答、「MA」は複数回答、「NA」は数値記述、「FA」は自由記述となる。・ グラフ下の「n=〇」は該当する回答数を示す。・ 回答の集計は、選択肢の回答数を総回答数で除したものを%表記しているが、小数第2位を四捨五入しているため、各回答の合計が100%とならない場合がある。

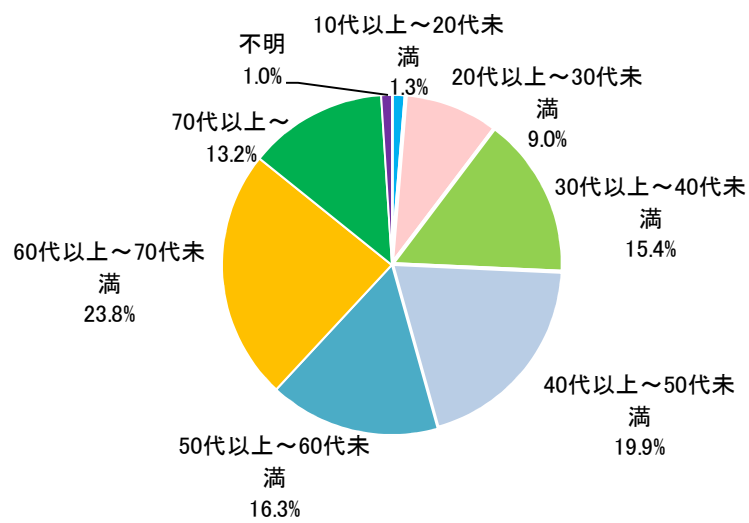
2 回答者の属性

①性別



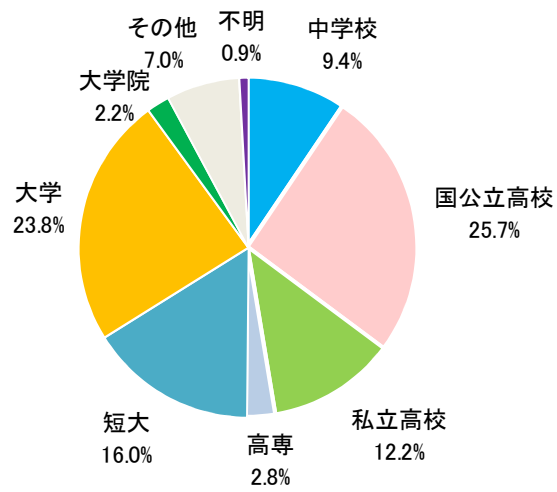
(n=688)

②年齢



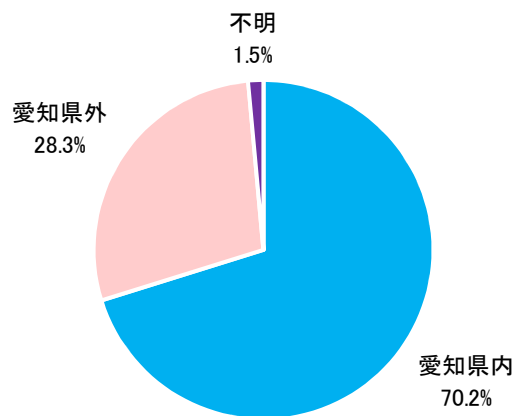
(n=688)

③最後に卒業・修了した(あるいは在学中の)学校



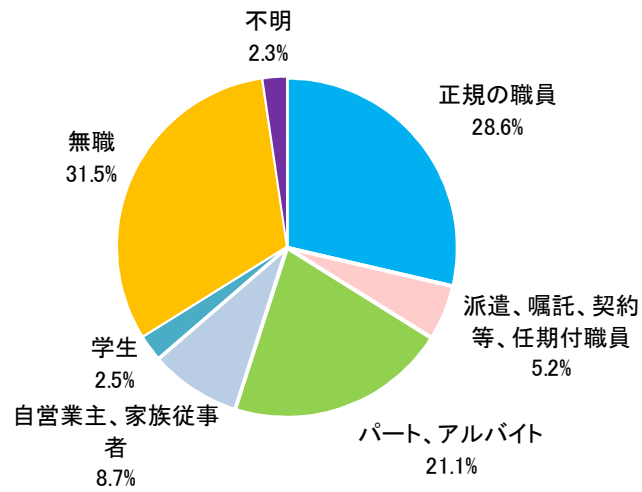
(n=688)

④ ③で答えた最後に卒業・修了した(あるいは在学中の)学校の所在地



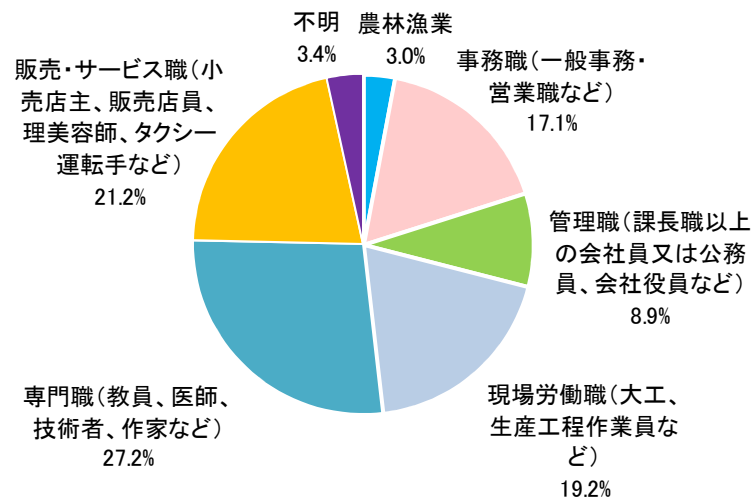
(n=688)

⑤現在のおつとめの状況



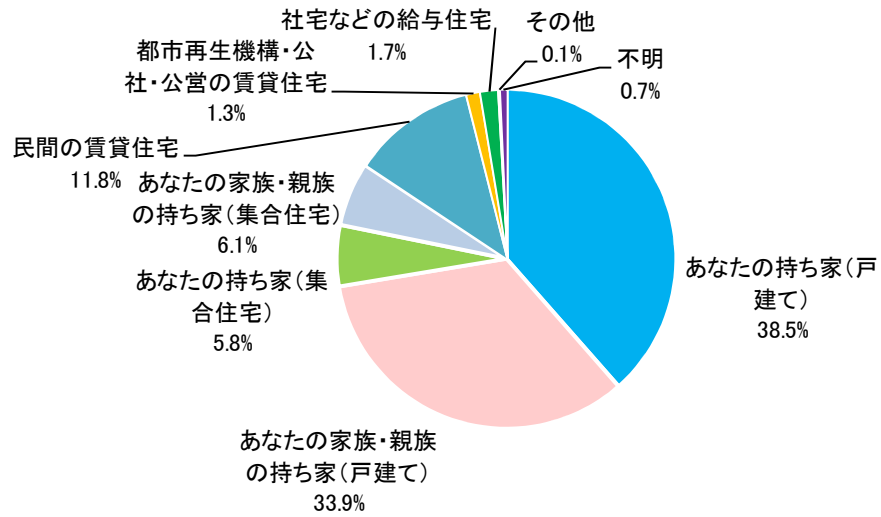
(n=688)

⑥現在の職種



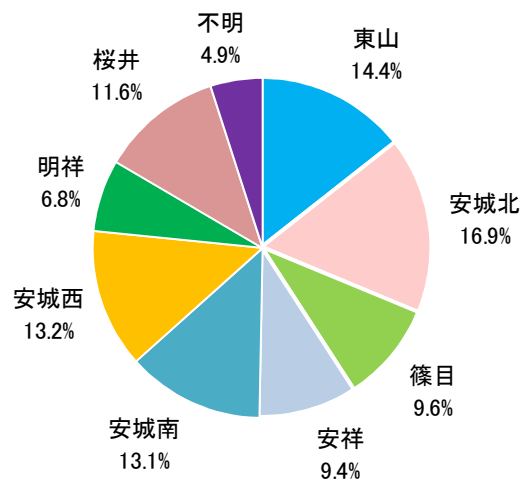
(n=438)

⑦現在居住している住宅の種類



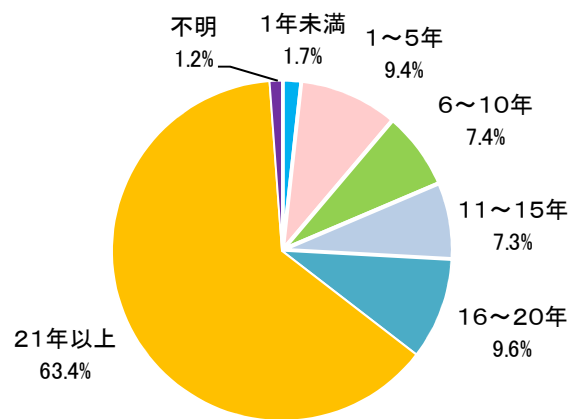
(n=688)

⑧現在お住まいの中学校区



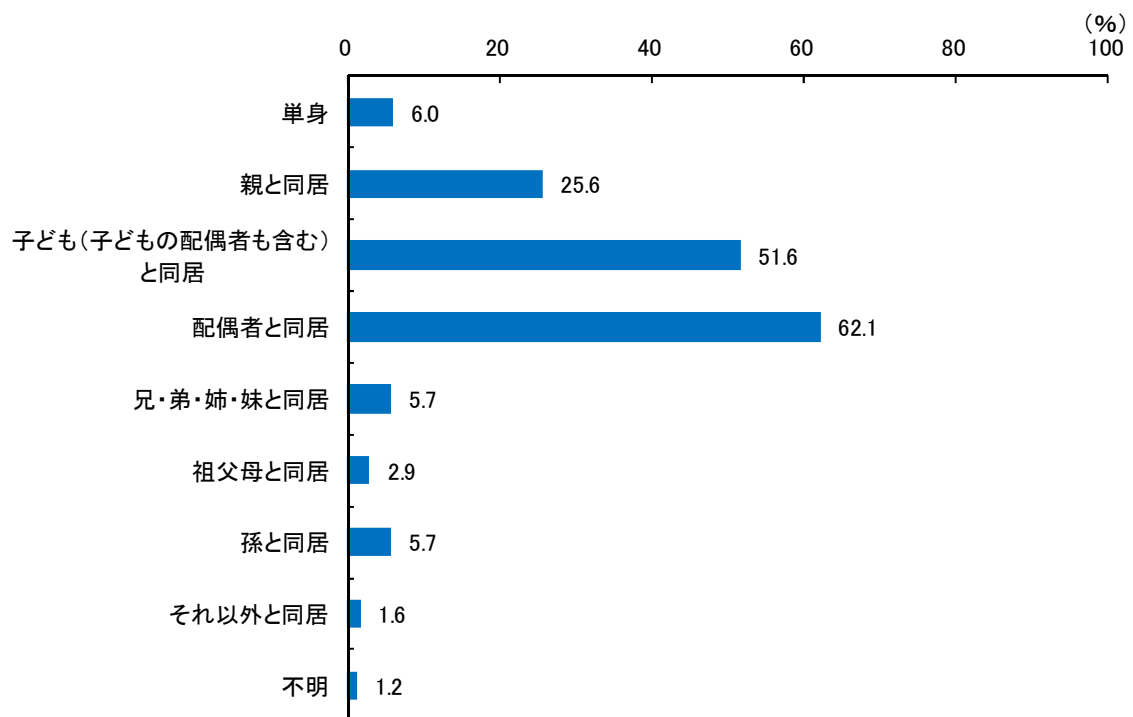
(n=688)

⑨ 居住年数



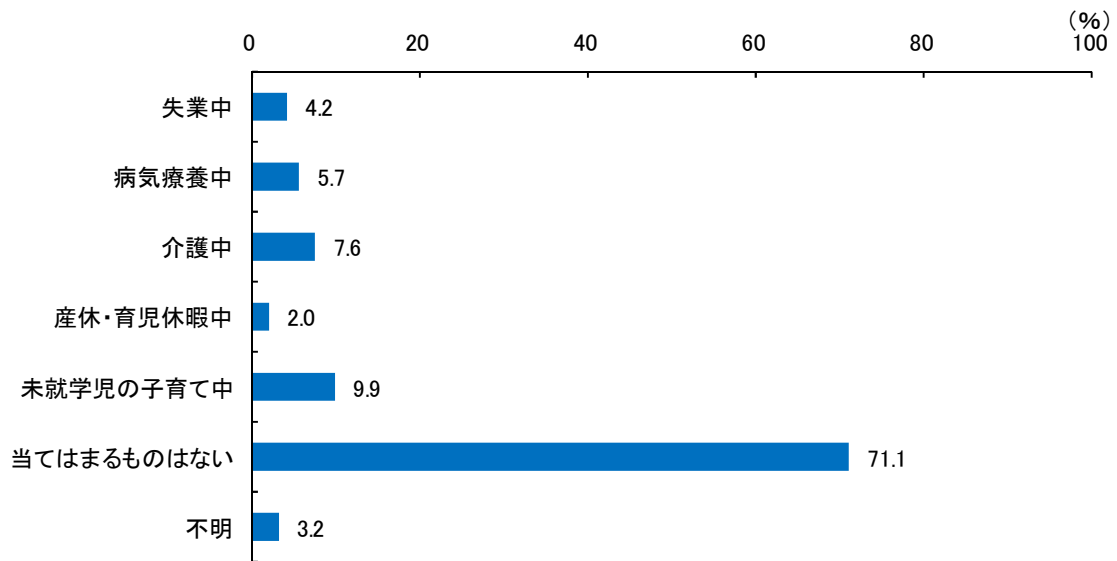
(n=688)

⑩ 同居している家族



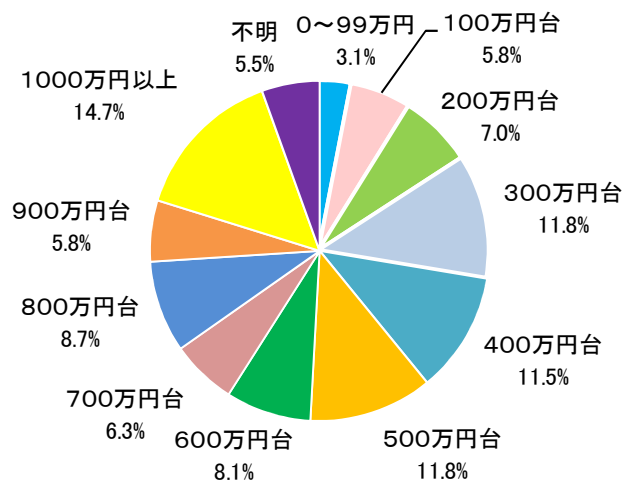
(n=688)

⑪現在のご自身もしくはご家族の仕事・育児・介護等の状況



(n=688)

⑫世帯の現在の年収合計



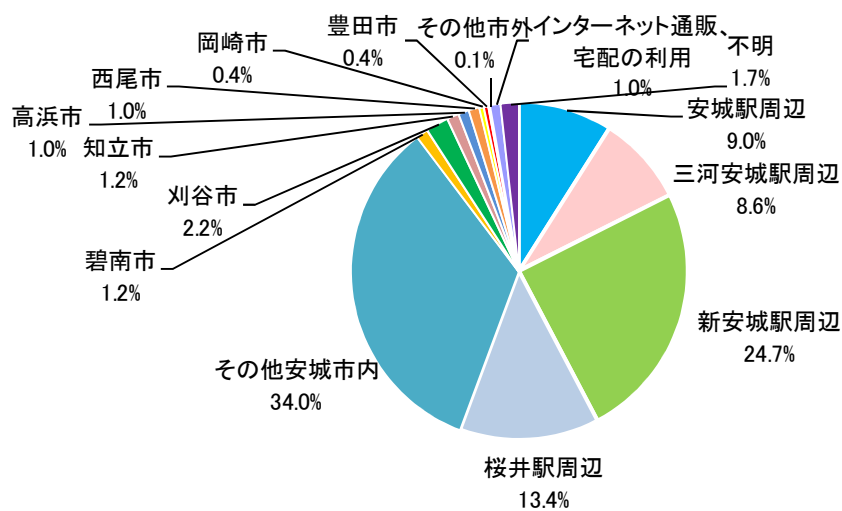
(n=688)

3 調査結果

(1) 普段の生活について

問1	あなたは、台所用品や日常食料品などの消耗品を主にどこで買い物しますか (SA)
----	---

「その他安城市内」が34.0%で最も多くなっています。次いで、「新安城駅周辺(24.7%)」、「桜井駅周辺(13.4%)」となっています。

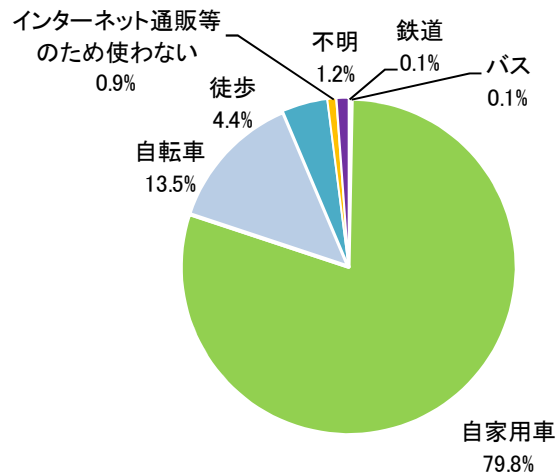


(n=688)

問2	あなたは、台所用品や日常食料品などの消耗品を買うために、主にどの交通手段を使いますか（SA）
----	--

「自家用車」が圧倒的に多く約 8 割を占めています。次いで、「自転車（13.5%）」、「徒歩（4.4%）」となっています。

「鉄道」と「バス」はほとんど利用されていないと考えられます。

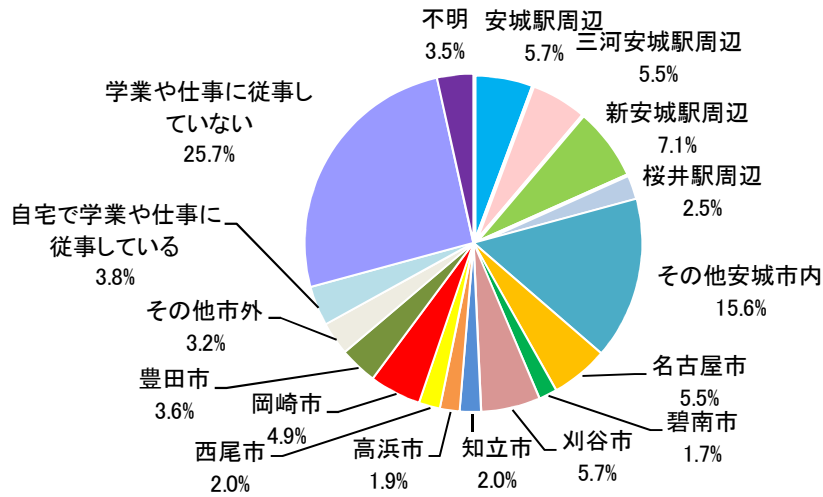


(n=688)

問3

あなたの通っている学校や職場はどこにありますか (SA)
 <複数ある場合は、主に通っている場所を選択>

「学業や仕事に従事していない」が 25.7%で最も多くなっています。次いで、「其他安城市内 (15.6%)」、「新安城駅周辺 (7.1%)」となっています。市外では、「岡崎市 (4.9%)」や「豊田市 (3.6%)」が多くなっています。



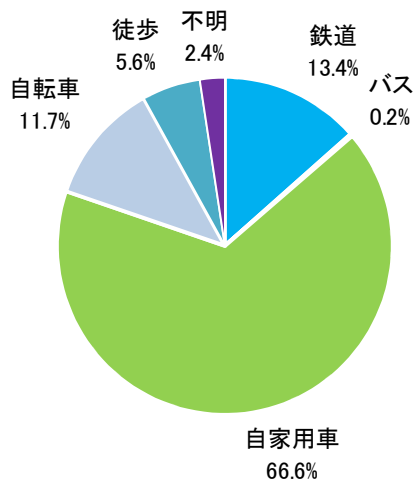
(n=688)

※ 問3で「15 自宅で学業や仕事に従事している」「16 学業や仕事に従事していない」以外を選択した人のみ

問4	学校や職場へ行くために、主にどの交通手段を使いますか (SA)
----	---------------------------------

「自家用車」が 66.6%で全体の約 2 / 3 を占めています。次いで、「鉄道 (13.4%)」、「自転車 (11.7%)」となっています。

「バス」は 0.2%にとどまり、ほとんど利用されていないと考えられます。

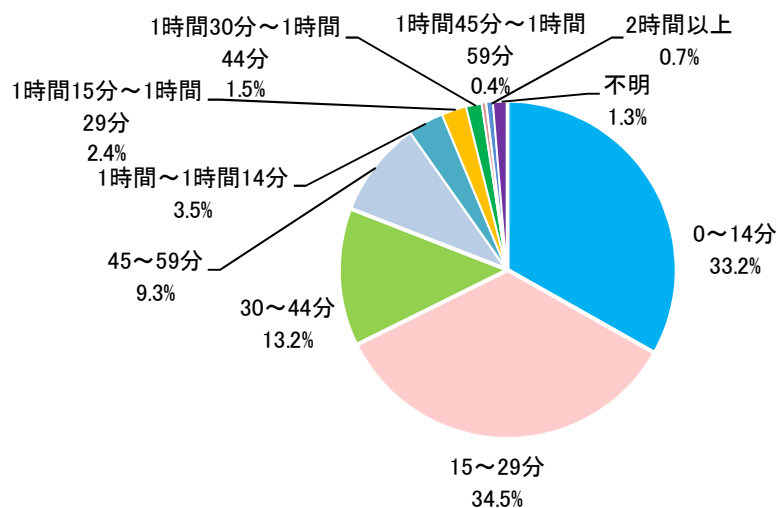


(n=461)

※ 問3で「15 自宅で学業や仕事に従事している」「16 学業や仕事に従事していない」以外を選択した人のみ

問5	学校や職場へ行くのにどれくらいの時間がかかりますか (SA)
----	--------------------------------

「15～29分」が34.5%で最も多くなっています。次いで、「0～14分(33.2%)」となり、全体の約2/3が30分未満で通勤・通学しています。

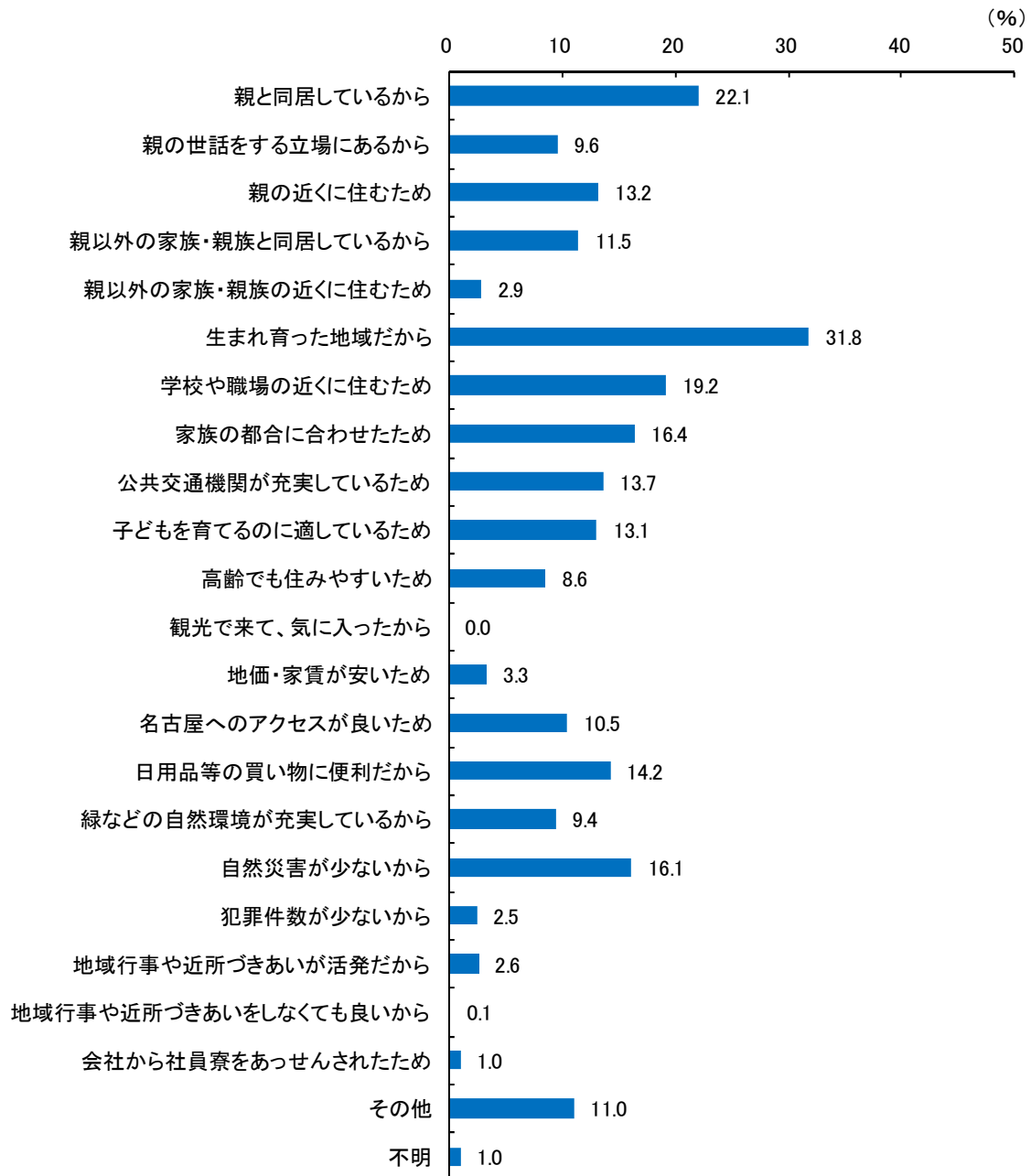


(n=461)

問6

あなたはなぜこの地域に住んでいますか（MA:当てはまるもの全て選択）

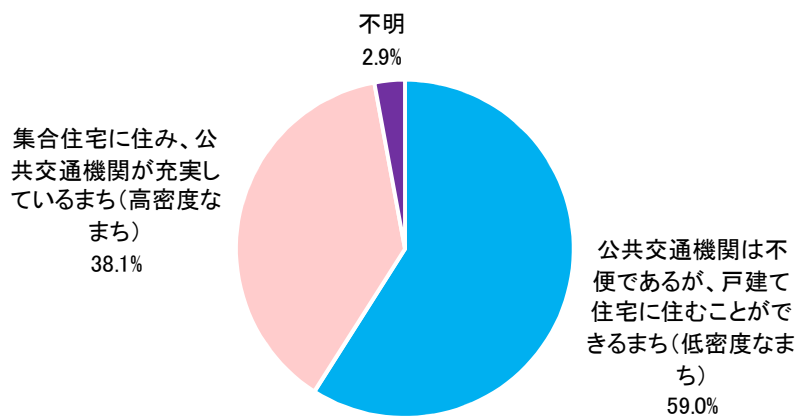
「生まれ育った地域だから」が31.8%で最も多く、次いで、「親と同居しているから(22.1%)」となります。この他、「学校や職場の近くに住むため(19.2%)」や「自然災害が少ないから(16.1%)」など、生活環境を評価した回答も見られますが、その割合は10%台にとどまっております。居住地として選択する強み・魅力は確立されていないと考えられます。



(n=688)

問7	次の2つのまちの姿のうち、あなたが居住地として選択するとしたらどちらですか (SA)
----	--

「公共交通機関は不便であるが、戸建て住宅に住むことができるまち（低密度なまち）」が 59.0%で、「集合住宅に住み、公共交通機関が充実しているまち（高密度なまち）」の 38.1%を 20 ポイントあまり上回っています。

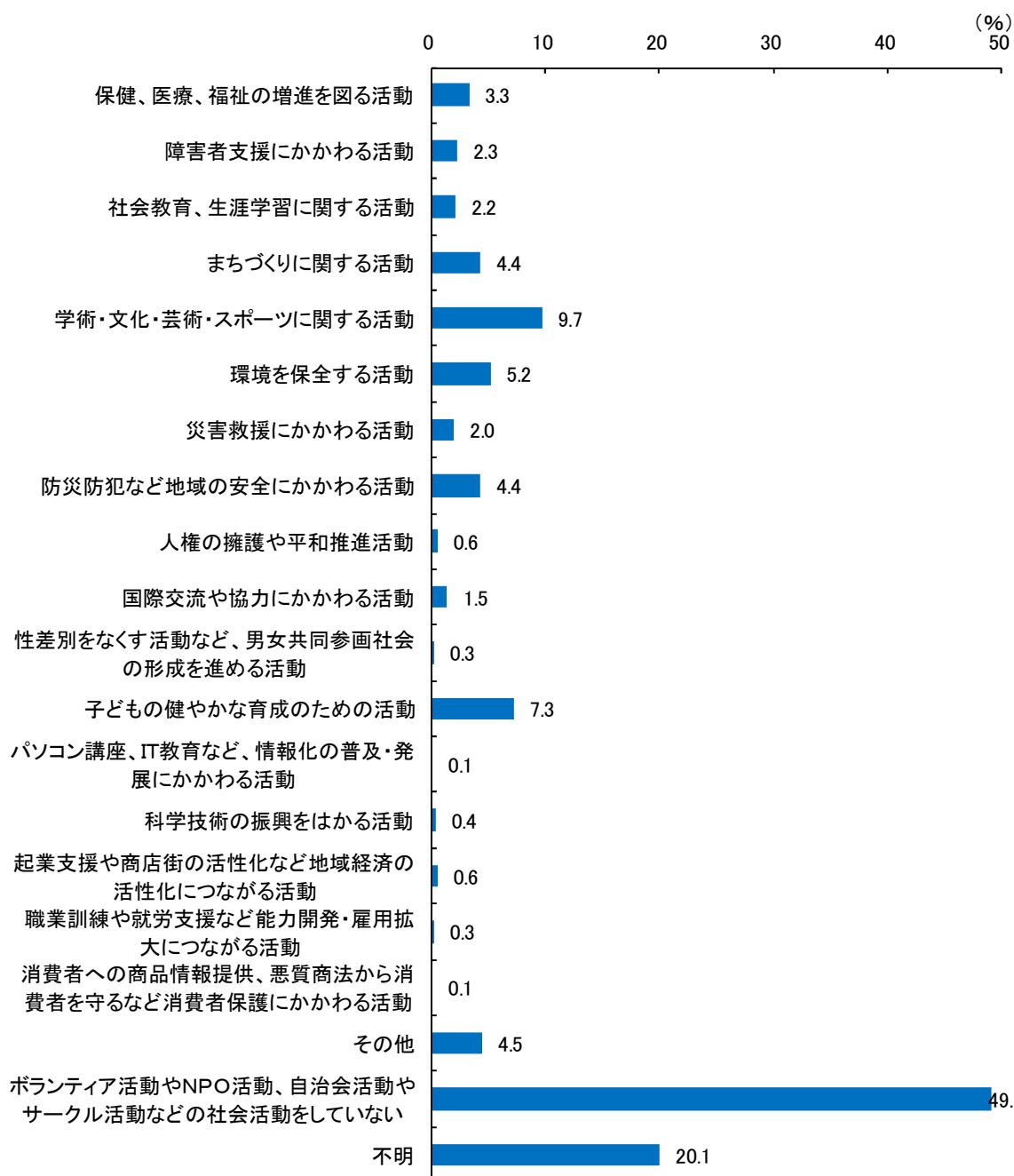


(n=688)

(2) 地域での社会活動や人とのつながり

問8	あなたはボランティア活動やNPO活動、自治会活動やサークル活動などの社会活動をしていますか (MA:当てはまるもの全て選択)
----	--

「ボランティア活動や NPO 活動、自治会活動やサークル活動などの社会活動をしていない」が約半数を 49.1%を占めています。具体的に活動しているものでは、「学術・文化・芸術・スポーツに関する活動 (9.7%)」、「子どもの健やかな育成のための活動 (7.3%)」が多くなりますが、いずれも 10%を下回っています。

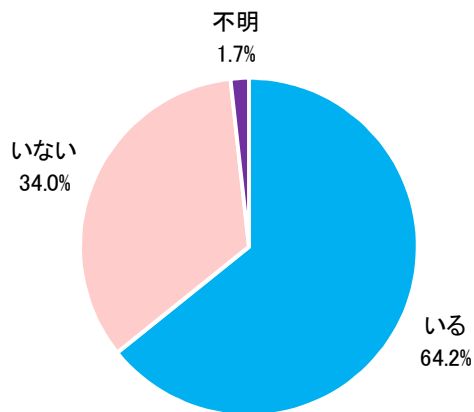


(n=688)

問9	あなたが日常生活で、家族・親族以外の人から何かをしてもらう機会についてお聞きします。1～3までそれぞれの項目で、そういう人がいますか（SA）
----	--

1. 普段、特に用事がなくても、あなたに声をかけて様子を気にかけてくれる人

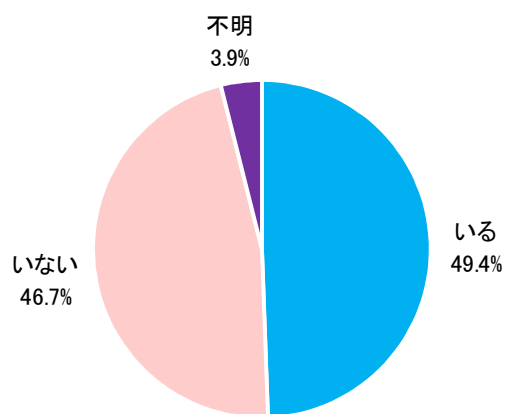
「いる」が64.2%で6割を上回ります。



(n=688)

2. あなたが今すぐ、1万円程度の現金を借りられる人

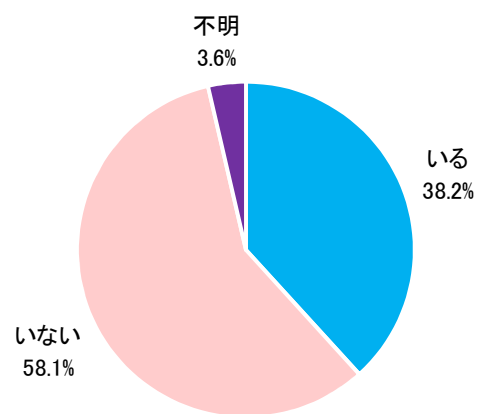
「いる」が49.4%で約半数を占めています。



(n=688)

3. あなたの具合が悪いとき、世話をしにきてくれる人

「いない」が58.1%で「いる」を上回り、約6割を占めています。



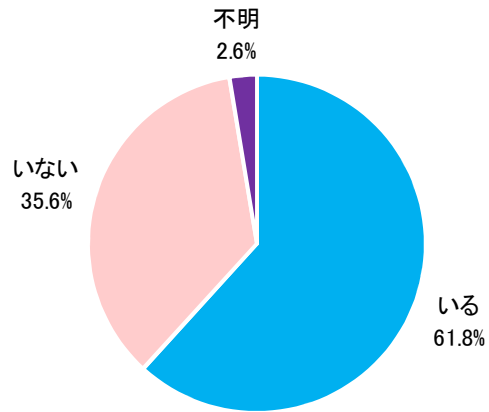
(n=688)

問10

あなたが日常生活で、家族・親族以外の人に何かをしてあげる機会についてお聞きします。1～3までそれぞれの項目で、そういう人がいますか（SA）

1. 普段、特に用事がなくても声をかけて様子を気にかけてあげる人

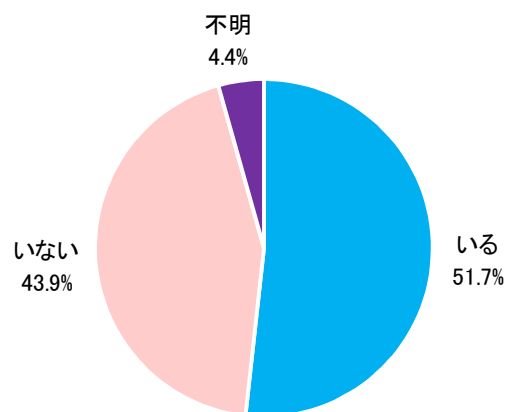
「いる」が61.8%で約6割を占めています。



(n=688)

2. あなたが今すぐ、1万円程度の現金を貸してあげられる人

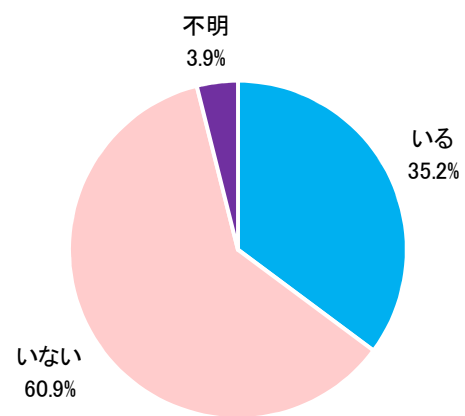
「いる」が51.7%で約半数を占めています。



(n=688)

3. あなたが、世話をしたり面倒をみてあげる人

「いない」が60.9%で「いる」を上回り、約6割を占めています。

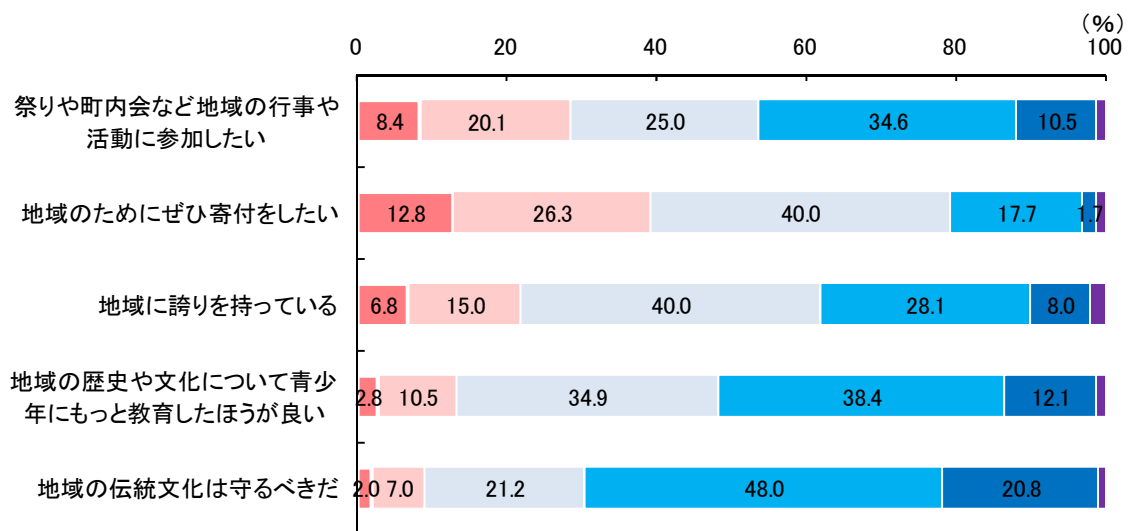


(n=688)

問11	あなたの地域への思いについてお聞きします。それぞれの項目において、当てはまるものを選択してください（SA）
-----	---

「非常にそう思う」割合が最も多いのは、「地域の伝統文化は守るべきだ」が 20.8%であり、次いで「地域の歴史や文化について青少年にもっと教育したほうが良い」の 12.1%となります。

「非常にそう思う」と「少しそう思う」を合わせた割合を見ると、「地域の伝統文化は守るべきだ（68.8%）」が約 7 割を占め、最も多くなっています。また、「地域の歴史や文化について青少年にもっと教育したほうが良い（50.5%）」や「祭りや町内会など地域の行事や活動に参加したい（45.1%）」が 5 割あまりとなります。「地域に誇りを持っている（36.1%）」は 4 割近くありますが、「地域のためにぜひ寄付をしたい（19.4%）」は約 2 割にとどまり、「まったくそう思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた 39.1%の半分程度となります。



■まったくそう思わない ■あまりそう思わない ■どちらともいえない ■少しそう思う ■非常にそう思う ■不明

(n=688)

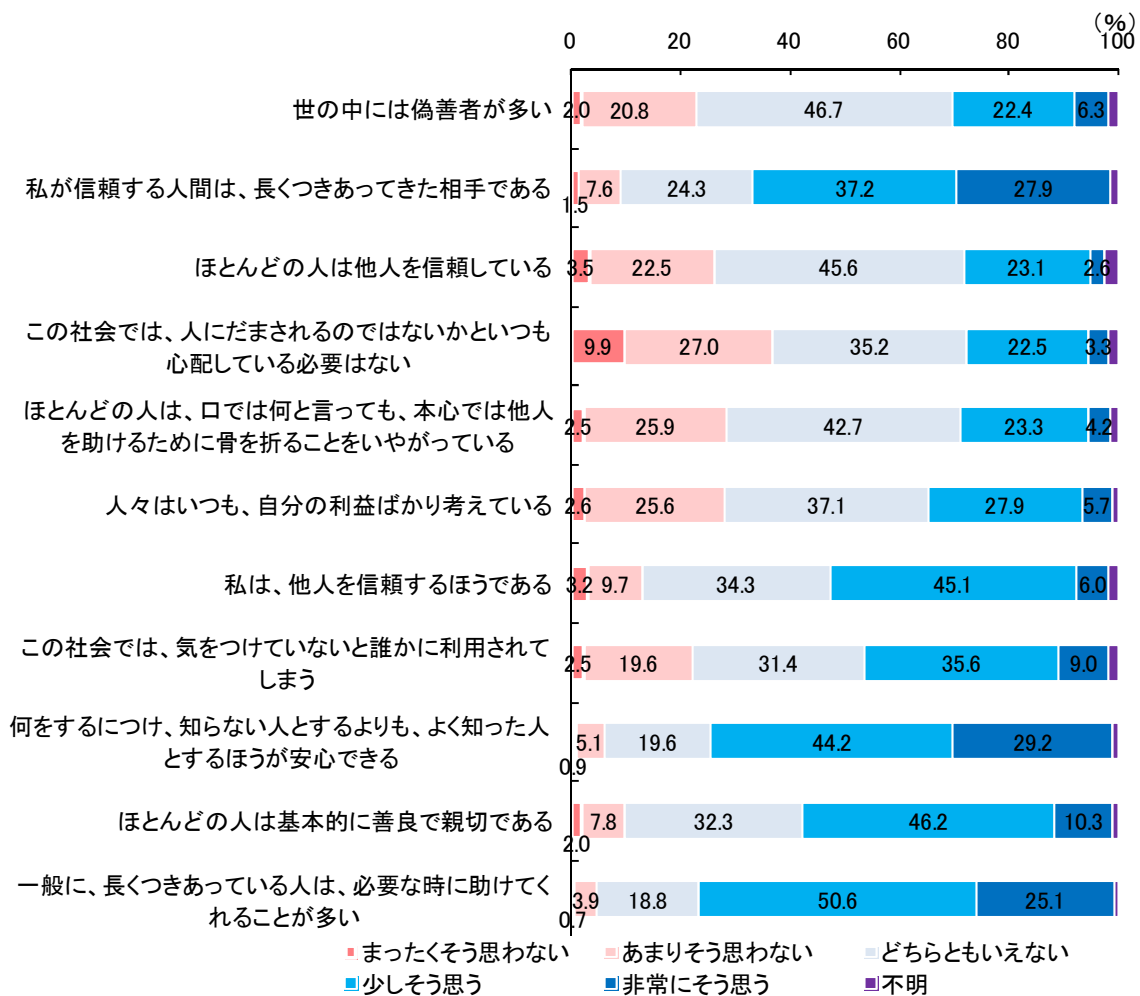
問12

あなたは次の内容についてどのようにお考えですか。それぞれの項目において、当てはまるものを選択してください（SA）

「非常にそう思う」割合が最も多いのは、「何をするにつけ、知らない人とするよりも、よく知った人とするほうが安心できる」が 29.2%で最も多く、次いで「私が信頼する人間は、長くつきあってきた相手である (27.9%)」、「一般に、長くつきあっている人は、必要な時に助けてくれることが多い (25.1%)」となっています。

「非常にそう思う」と「少しそう思う」を合わせた割合を見ると、「一般に、長くつきあっている人は、必要な時に助けてくれることが多い (75.7%)」や「何をするにつけ、知らない人とするよりも、よく知った人とするほうが安心できる (73.4%)」は 7 割を超えています。また、「私が信頼する人間は、長くつきあってきた相手である (65.1%)」や「ほとんどの人は基本的に善良で親切である (56.5%)」、「私は、他人を信頼するほうである (50.1%)」も 5 割を超えています。

一方、「この社会では、人にだまされるのではないかといつも心配している必要はない」や「ほとんどの人は、口では何と言っても、本心では他人を助けるために骨を折ることをいやがっている」、「ほとんどの人は他人を信頼している」については、「あまりそう思わない」と「まったくそう思わない」を合わせた割合の方が上回っています。

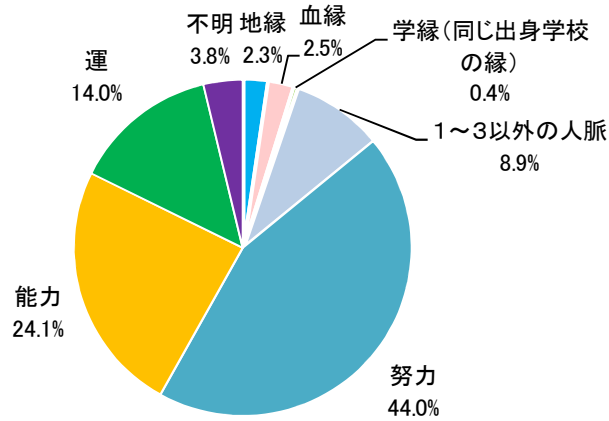


(n=688)

問13

あなたはこの社会で成功するために、次のうち何が大事だと思いますか（SA）

「努力」が44.0%で最も多くなっています。次いで、「能力（24.1%）」、「運（14.0%）」となっています。

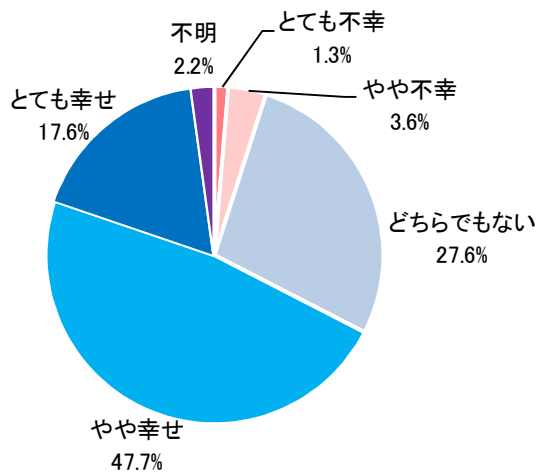


(n=688)

問14

あなたはどの程度幸せですか。次の中からあなたの感じに近いものを選択してください（SA）

「とても幸せ（17.6%）」と「やや幸せ（47.7%）」を合わせると65.3%となり、「とても不幸（1.3%）」と「やや不幸（3.6%）」を合わせた4.9%を約60ポイント上回っています。すなわち、幸せを感じる市民の方が多いといえます。

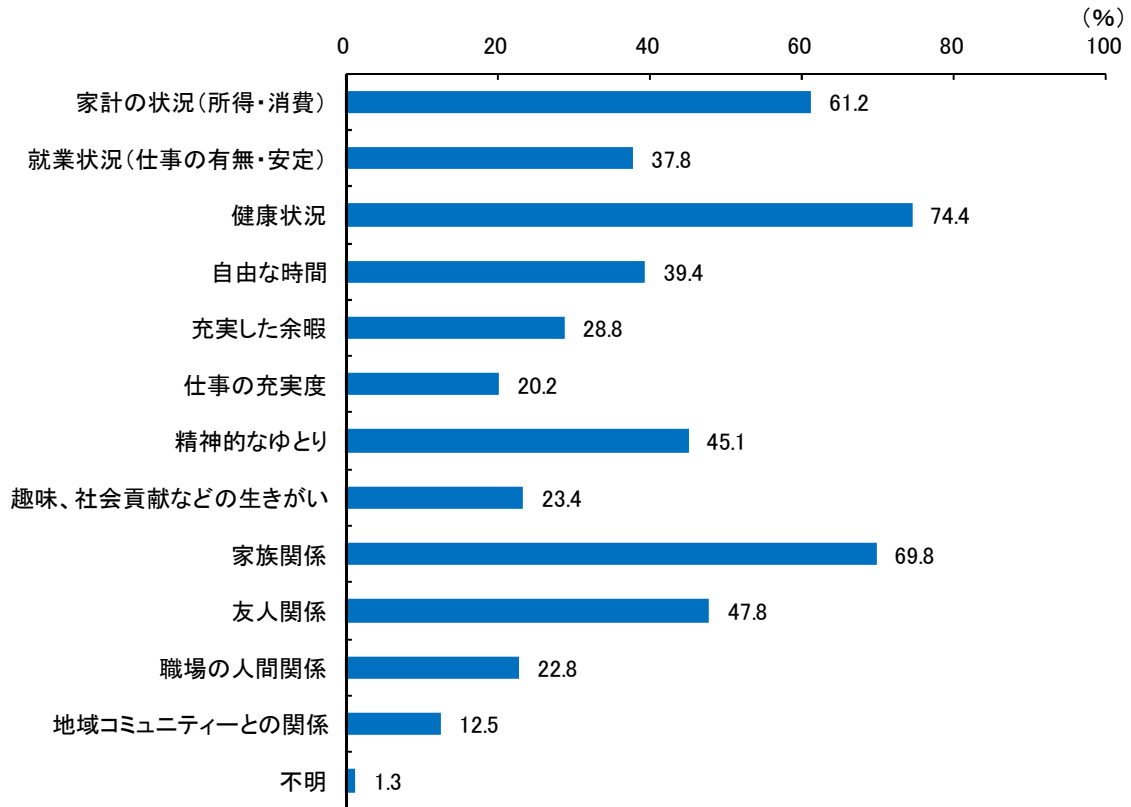


(n=688)

問15

問14で幸福感を判断する際に、重視した事項は何ですか
(MA:当てはまるもの全て選択)

「健康状態」が74.4%で最も多くなっています。次いで、「家族関係(69.8%)」、「家計の状況(所得・消費)(61.2%)」が6割を上回ります。この他、「友人関係(47.8%)」、「精神的なゆとり(45.1%)」、「自由な時間(39.4%)」、「就業状況(仕事の有無・安定)(37.8%)」が3割を超えています。



(n=688)

問16	地域での暮らしや社会活動について、ご意見がありましたらご記入ください (FA)
-----	---